

岩手県 軽米町議会

かるまいの議会だより

No. 214

平成 30 年 7 月 25 日

主な内容

📁 特集「議員定数を考える」

議員定数を2減の12人に 2

📁 6月定例会 一般質問に3人登壇 8

📁 町議会と町民の交流 パークゴルフ大会 14

📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 16

親子で仲睦まじく交流

子ども会行事で一緒にパークゴルフで汗を流したお父さんとお母さん。思いうようなスコアは出なくても、親子仲睦まじくふれ合うひと時に思わず笑顔が溢れていました。

(平成 30 年 6 月 30 日；子ども会交流会)

議員定数を14から12へ
来年4月の選挙から適用

6月定例会（第24回定例会）は、6月11日から19日までの9日間の会期で開かれました。町議会議員の定数等調査特別委員会の調査の結果報告と、併せて次期一般選挙から議員定数を12人とする条例改正案が議員発議され賛成多数で可決しました。特別委員会での調査の経過報告と、これからの議会の在り方について町民の意見を紹介します。

多門委員長、委員13人
 Ⅱ議長を除く）を設置
 以来、同幹事会を11回、
 委員会を7回、葛巻町
 議会での視察研修と町
 民との懇談会を各1回
 行い、議員定数の在り
 方等について調査検討
 を行ってきました。

占め、委員会での意見
 をまとめました。

**定数削減へ
 条例を改正**

19日の最終本会議で
 調査結果を報告。併せ
 て町議会議員の定数を
 現在の14人から2人減

特別委員会で意見分かれる

平成29年9月定例会の最終本会議で、軽米町議会議員の定数等調査特別委員会（細谷地

最終的に、現状を維持（定数14人）、2人減、4人減の大きく3つの意見が出されました。6月7日の最後の委員会で2人減の12人とする意見が多数を

の1人に改正する条例案が、議員発議案として提出されました。

採決の結果、賛成多数（10人）で可決され、次期選挙から定数が12人となりました。

19日の最終本会議で調査結果を報告。併せて町議会議員の定数を現在の14人から2人減の12人に改正する条例案が、議員発議案として提出されました。

採決の結果、賛成多数（10人）で可決され、次期選挙から定数が12人となりました。

町民の声を議会に
全員が一般質問を



古里 齊^{ひとし}さん
(下晴山、56歳)

人口減少とともに議員定数を減らすこと自体はやむを得ないことだと思うが、町民の声を広く拾い上げることはぜひお願いしたい。例えば、一般質問を全議員が行うような活発な議会になってほしい。最近議会だよりが、分かりやすくなり手に取って読もうと思うようになりました。こうした変化を期待します。

世代交代へ議員 定年制の検討を



しげお
村上 重雄 さん
(向川原、64歳)

定数12人は、定数削減の方向と議会の機能低下を考えると常識的な判断と感じる。議員の成り手不足は報酬だけでなく本人の覚悟と勇氣、そして家族の協力など多方面にわたる。議員の定年制について議論が無いのは期待外れ。若年層が出て世代交代するには定年制の導入が必要でないか。

議員の役割大きく 報酬見直し検討も



まこと
玉舘 誠さん
(屋敷、46歳)

人口に見合った議員
定数になったと評価し
ています。一方で、議
員個人個人にはこれま
で以上に役割が重くな
ることを理解してほし
い。その上で報酬の見
直しを検討することは
必要なことではないで
しょうか。今後は若い
議員、女性議員が増え
る環境を整備すること
が必要だと思います。

町の発展向上に
新しい風を期待



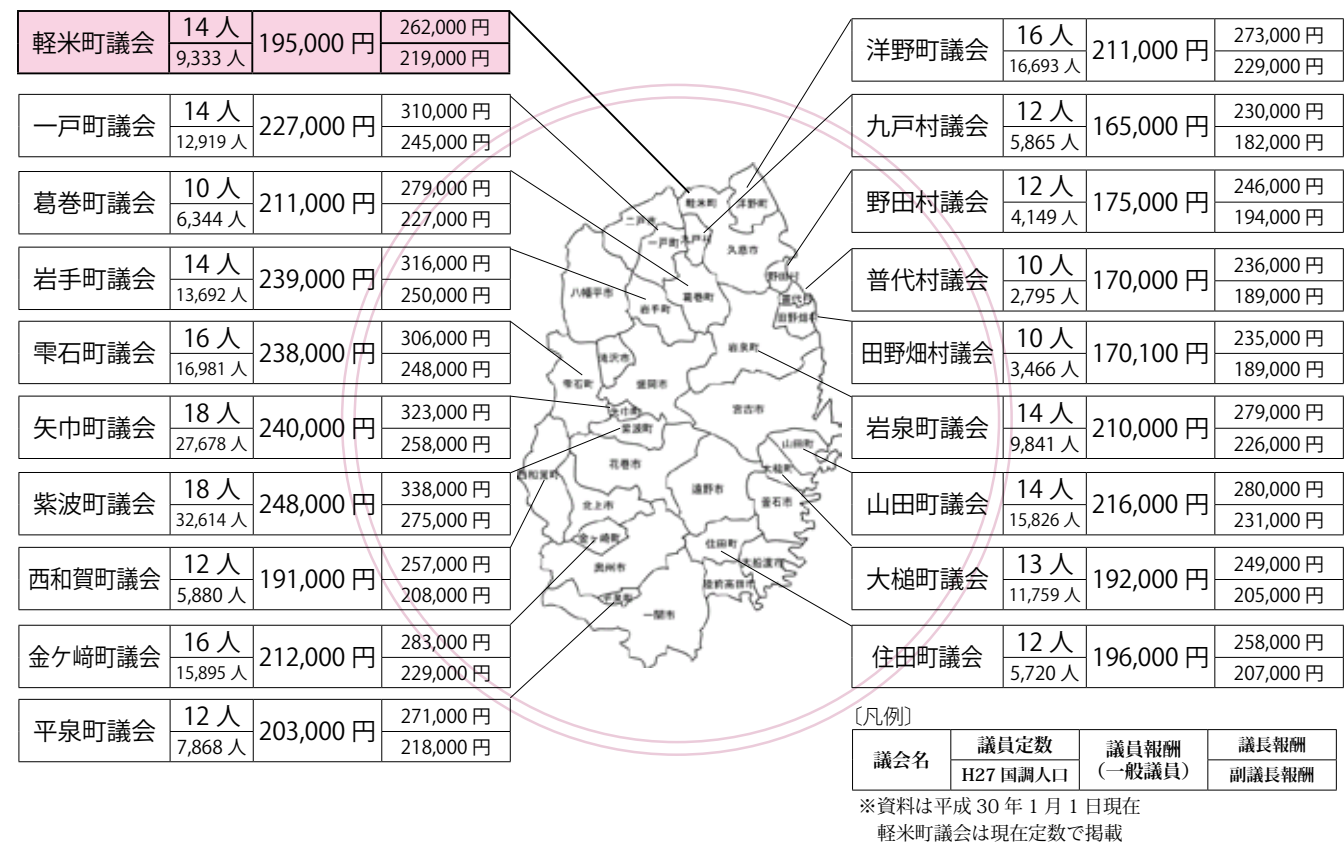
小林 ^{よしのり}良式さん
(上新町、46歳)

人口減少と定数削減は自然な流れだと思うがそれによる政治力の低下は避けてほしい。町民の代表である議員は、政治家たる自負を持ち町の発展向上に努めてほしい。今一度足元を見つめ直し、町発展への起点となり新しい風を吹かせていただくことを期待します。

平成 30 年 6 月定例会最終本会議で起立採決が行われた、議員定数を 12 人とする条例改正案の審議（平成 30 年 6 月 19 日本会議場）

〔お聞きしました〕議員の数が少なくなりますが、これからの町議会に何を期待しますか？

岩手県内の町村議会の比較（議員定数・国調人口・議員報酬）



軽米町議会議員の定数等調査特別委員会の活動状況

月 日		会 議	主な内容
平成29年	9月15日	第18回（29年9月）定例会最終本会議	特別委員会の設置を提案、全会一致で可決
		委員会①	委員長、副委員長、幹事を選出
	10月31日	幹事会①	今後の進め方について協議
	11月8日	委員会②	委員会の進め方を確認、各委員から定数及び結論時期等について意見を出し合う
	12月5日	幹事会③	勉強会又は視察研修について協議
	12月18日	視察研修	葛巻町議会で研修
	12月22日	幹事会④	町内団体等から議会への意見を聞くことについて協議
		委員会③	幹事会の上記懇談会の開催案に対して各委員から意見を聞く
		幹事会⑤	次回の委員会開催について協議
		委員会④	各常任委員会及び各委員の立場から課題や意見を出し合う
平成30年	1月12日	幹事会⑥	今後の進め方について協議
	1月19日	幹事会⑦	町民との懇談会について及び結論の時期について素案を作成
	1月31日	委員会⑤	町民との懇談会開催を決定
		幹事会⑧	町民との懇談会の進め方等を協議
	2月16日	町民との懇談会	各団体及び一般公募の町民24人の出席のもと意見を伺う
	4月24日	幹事会⑨	今後の進め方について協議
	5月8日	委員会⑥	各委員が意見を出し合った結果、削減への意見が多数出される
	6月7日	幹事会⑩	次回委員会で、委員会としての意見を集約することについて協議
	6月14日	委員会⑦	起立採決の結果、2人減の定数12人とするのを委員会として決定
	6月19日	幹事会⑪	第24回定例会最終本会議での委員会結果報告並びに議員定数に関する条例改正への発議案について協議
	6月19日	第24回（30年6月）定例会最終本会議	委員会の結果報告 議員定数の条例改正についての発議案を賛成多数で可決

討論

賛成

反対

議員の資質向上めざし削減を



茶屋 隆

今委員会での議論は、定数削減ありきではなく、町議会は今後どうあるべきかを議論してきた。議員は何人必要か、その中でどうすれば新人議員が出やすくなるのか。これからの議員は、政策立案能力や町民の声をしっかりと反映させることが一層問われる。開かれ、活動が見える議会をめざしていくべき。総合的に判断し12人が妥当と考える。

専門性と十分な議員活動が必要



松浦 満雄

定数削減は多くの町民の民意であり、議員自らが議会経費を削減し町に対して更なる行財政改革を求める立場にもある。特別公務員でもある議員は全体の奉仕者としての職責を果たすには、高い専門性と十分な議員活動が必要で、専業であることが望ましい。定数2の削減とともに、報酬の引き上げ、政務活動費の導入も検討していくべきである。

現状が妥当、口数は多い方が良い



山本 幸男

議会は町当局と互いにけん制し合いながら議論を深める機関である。定数は、町が審議会等を設置して条例改正を提案すべきで議員自らが提案することではない。現状の14人は、周辺町村議会と比較しても妥当である。定数の削減は当選のハードルが上がり、結果無投票が心配される。口数が多い方が良いという声も聞く。削減すべきではない。

議会の機能低下と弱体化を危惧



古館 機智男

定数削減は町民の声が届きにくくなるばかりか、首長とのバランスが崩れ議会のチェック機能の弱体化にもつながる。また若者や女性が立候補したくても、ハードルが上がり競争も激しくますます出られなくなる。今回の議論は定数削減ありきで、道理が無く非常に問題。今こそ議員自らが町の将来を真剣に考えるときであり、削減には反対。

表決

表決一覧（賛成：○、反対：×、欠席：欠）

議案名（○数字は議案番号）	議 員 名													賛成	反対	結果
	中里 宣博	中村 正志	田村 せつ	川原木 芳蔵	上山 勝志	館坂 久人	茶屋 隆	大村 税	松浦 満雄	本田 秀一	細谷 地多門	古館 機智男	山本 幸男			
発議案① 議会の議員の定数を定める条例の一部改正（定数を2人減とする改正案への賛否）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	10	3	可決

（※）議長は通常、採決には加わらない。

6月定例会で決まったこと

案件内容と審議・採決の状況

議案番号等	案件内容	本会議の採決結果	付託審査	採決日
議案①	町税条例等の一部改正の専決処分（地方税法等の一部改正に伴い平成 30 年 4 月 1 日付けで町税条例改正を専決処分）	可決 （全員賛成）	平成30年度軽米町一般会計 補正予算等審査特別委員会	6月 19 日
議案②	町税条例等の一部改正 （地方税法等の一部改正に伴う町税条例の改正）			
議案③	和解に関する議決（東京電力ホールディングス㈱原子力発電所事故による損害賠償請求に係る和解；和解金 97 万円）			
議案④	平成 30 年度一般会計補正予算〔第 1 号〕 （3 億 580 万 7 千円の増額補正）※詳細は 6 ページ参照			
議案⑤	平成 30 年度介護保険特別会計補正予算〔第 1 号〕 （145 万 8 千円の増額補正；前年度繰越金の歳入増と通所介護サービス事業費の支出増）			
請願陳情⑨	町道上野場名川線と農免農道観音林地区までの道路について、町道認定をお願いしたい	採択 （全員賛成）	常任委員会 産業建設会	
議案⑥（※）	デジタル防災行政無線整備 4 期工事の請負契約の締結 （契約金額 3 億 3696 万円）	可決 （全員賛成）	本会議	
議案⑦（※）	財産の取得 （町消防団小型動力ポンプ付積載車の取得 1023 万 8400 円）			
議案⑧（※）	財産の取得 （マイクロバスの取得 1421 万 2800 円）			
	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会報告			
発議案①	軽米町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例 （議員定数を 12 人とするもの）※詳細は 2～5 ページ参照	可決 （賛成多数）		
	委員会の閉会中の所管事務調査について （次回定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの）	可決 （全員賛成）		

（※）6月19日の最終本会議で追加提案された議案

議会を傍聴ください

次の町議会定例会は

9月上旬に開かれます

町議会はどなたでもご覧いただくことができます。日程は、議会招集日の1週間から数日前に決定しますので、町ホームページや「かるまいテレビ」、情報無線放送でお知らせします。詳しくは、町議会事務局（☎46—4745）までお問い合わせください。

皆さんからの請願・陳情の審査結果

【請願陳情第19号】

※件名：「町道認定の陳情」

※要旨：町道上野場名川線と農免農道観音林地区までの道路について、町道認定をお願いしたい

※請願者：上野場集落（行政区）
区長 福田隆ほか8名

平成29年12月と
30年3月定例会で

継続審査

採択

全会一致

6月定例会で決まったこと

一般会計予算を増額

65億3080万円に

会計別歳入歳出予算（6月19日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計①	3億580万円	65億3080万円
国民健康保険	—	11億7500万円
後期高齢者医療	—	9100万円
介護保険①	145万円	6805万円
下水道事業	—	1億6910万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
※会計別欄の○数字は補正の回数を示しています

※※※ 主な補正予算の内容 ※※※

一般会計補正予算（第1号）

【歳入】

※地域経営推進費6事業分（県補助金876万円）
※部活動指導員配置事業費補助金（県補助金22万円）
※スポーツ振興くじ助成金（雑入2703万円）
※前年度繰越金（繰越金3億8345万円）
※体育施設整備事業債（町債1300万円）

【歳出】

※岩手県立軽米病院旧小軽米診療所解体費補助金（保健衛生費450万円）
※中学校部活動指導員報酬等（中学校費38万円）
※自治総合センターコミュニティ助成金（社会教育費240万円）
※町民体育館床改修工事関係（保健体育費4056万円）
※林道災害復旧事業関係（災害復旧費270万円）

特別委員会での主な質疑

原子力発電所事故による和解金

平成23年3月11日に発生した東京電力ホールディングス㈱原子力発電所事故による放射性物質の影響対策に要した経費について、原子力損害賠償紛争解決センターのあっせんによる和解に応じるもの。放射線測定器の購入費用（519,435円）は100%、除染経費（573,675円）については80%が損害として認められたので、和解するもの。【和解金97万円】

問 原発事故関連で、町が関係する賠償案件がほかにも残っているか。

答 町で求める雑穀等に関する測定経費については賠償の対象外とされ、今後協議したい。

県立軽米病院旧小軽米診療所解体への補助

平成19年8月に廃止となった県立軽米病院の旧小軽米診療所について、老朽化に伴う解体経費に対して所有者である小軽米土地利用農業協同組合へ補助するもの。【事業費450万円】

問 補助金額の算出根拠は。

答 所有者が負担する解体費用の95%を支出する。

中学校部活動指導員の配置

中学校部活動指導員の配置に要する報酬・旅費を予算計上した。【事業費38万7千円】

問 部活動指導員で予定する人数、活動範囲は。また大会遠征等への参加も想定しているか。

答 町の要綱等はまだ制定していない。教職員の勤務負担軽減が目的とされ、スポーツ庁のガイドラインでは、週休日、一日の時間などが決められているほか、顧問の就任、大会引率は可能とされている。今後、県の方針が策定されるので、それを参考に町でも詳細を決定していく。人数は1名で、任用は町が行う。



部活動指導員の配置に向けた準備が進められます
（写真は、軽米中学校武道場での剣道の稽古風景）



交流駅整備

問 今後の整備計画を示せ

町長 平成36年度（2024年度）開館を想定



平成31年度から周辺道路の改良工事に取掛かり36年度の開館をめざす「かるまい交流駅（仮称）」の外観イメージ

【問】意見箱による町民意見をどのように生かしていくのか。
（町長）意見箱には、建設の必要性についてや規模の縮小、既存施設の活用に関してのものが多かった。ほかに舞台装置についての貴重な意見もあり、今後検討したい。

【問】建設検討委員会での視察状況を伺う。
（町長）31年度から町道改良に取りかかり、32年度から建物本体工事に着手予定。開館は36年4月を想定する。

【問】トレーニング室へ有資格者の配置は。
（町長）健康増進に向けて誰でも気軽に利用できるような形態を想定しており、配置は考えていない。
【問】音響等の機器導入の視点はいかに。
（町長）できるだけ高性能でありながらも、職員等が操作できる範囲のものを導

その他の質問・回答

入りたい。
【問】空き駐車場の活用やポルタリングの設置検討はいかに。
（町長）建設検討委員会等の意見を参考に検討する。
【問】高齢者利用の視点が不足していないか。
（町長）図書館やラウンジ等、世代を問わず誰もが使えるよう配慮している。

【問】賑わい創出への目玉は何か。
（町長）老朽化した中央公民館と図書館の建て替えに併せ、子育て支援機能を備え多世代が多目的に交流できる拠点施設。中心商店街の賑わいと町の活性化への核施設としたい。
【問】町商工会事務局も計画しているのか。
（町長）中心商店街の賑わい創出、若者の集

問 賑わい創出の目玉は 町長 多世代交流と商工会連携

客効果を図る目的から商工会事務局の設置を予定している。

【問】中心街活性化には、隣接する元屋町地区の活用やアクセス道整備も必要である。こうした全体計画のもと進めるべきでないか。
（町長）アクセス道路は遅滞なく整備できるよう検討する。中心街活性化には、町商工会等と連携していく。

ここからは 第24回定例会・一般質問 3人が登壇

一般質問とは
・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
・質問者の順番は通告した順番で行われます
・同一項目についての再質問は2回までできます
・時間の制限はありません

質問議員	質問事項	関連写真
中村正志 (9ページ)	かるまい交流駅（仮称）整備の進捗状況及び今後の建設計画について	
茶屋 隆 (10ページ)	町内観光施設の運営について ふるさと納税について	
山本 幸男 (11ページ)	いちい荘の建設計画について 交流駅について見直しが必要ではないか	

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
※質問・回答の全文は会議録に調製しますので、議会事務局又は町ホームページでご覧いただけます。

議会のはてな？ しくみを教えて！ No.14

ぎかいのぼうちょう 議会の傍聴

本会議は公開が原則

本会議は公開が原則（自治法第115条①）で、議員以外の者が直接に見聞できるとされる。（秘密会とした場合を除く）但し、傍聴規則で禁止された事項や騒ぎたてるなどした場合には、議長は退場を命ずることができる。

委員会長の許可で

法律上、委員会は公開の原則は適用されないが、特別委員会での審議が重要視される場合、可能な限り公開することが望まれる。実際は、委員長が許可した場合に傍聴できる制限公開制としている。

目的は議場の秩序保持

傍聴規則は、議長が議場の秩序保持のため定めることとされ、各自治体によって異なるが、概ね、傍聴手続のほか、議場への進入禁止、写真・映像の撮影及び音声の録音等の制限などを規定している。



ミレットパークの活用

問 コテージ利用増へ対策は

町長 県指定天然記念物ヒメボタルをPR



折爪岳など周囲の観光資源と関連づけた利活用が求められるミレットパークのコテージ（4人用・8人用が全8棟）

【問】29年度の町内観光施設の集客状況はいかに。
（町長）フォリストパークの来場者は2万2754人、前年度比2・1%増で販売額も約1割増になった。ミレットパークは、利用者数、販売額ともに約1割減。ミル・みるハウスは、来客者が約1割増えたが販売額は前年度を3・5%下回った。

【問】30年度のチュールリップフェスティバルのステージイベントが1日だけだったのはなぜか。
（町長）従来2日間のイベントを1日とした代わりに、馬とのふれ合いイベントを開催した。今後も予算等検討しながら、魅力あるイベントに努めたい。

あるか。

【問】ふるさと納税の29年度実績は。
（町長）1353件、1781万5千円の寄付をいただいた。ポータルサイト「さとふる」を活用したことが大きな要因と考えている。

問 寄付者の期待に応えて
町長 用途を公表し、理解頂く

【問】ふるさと納税の29年度実績は。
（町長）1353件、1781万5千円の寄付をいただいた。ポータルサイト「さとふる」を活用したことが大きな要因と考えている。

【問】寄付金の使い道は寄付者の期待に沿うものとなっているか。
（町長）使い道等について町ホームページで情報提供している。金額、件数とも前年度を上回っており理解いただいている。活用先も町独自の事業や子育て支援などに有効活用していると思っている。

【問】寄付者の地域や年齢などの分析は。
（町長）東京都内の方が387件と最も多く関東地区が全体の半分を占めるなど、全国47都道府県に及ぶ。年齢は把握していない。



特別養護老人ホームいちい荘

問 町の補助金支出は適正か

町長 地方債が財源の補助金で問題はない



基本設計で描かれた特別養護老人ホームいちい荘の移転新築後のイメージ。建築面積が約2,500㎡の平屋建てを想定しています

【問】いちい荘の建設について本年3月定例会以降の進捗を伺う。
（町長）軽米町社会福祉協議会（以下「町社協」）で本年3月12日、いちい荘整備事業推進部会を立ち上げ、町からは副町長のほか4名が参加している。29年度の町補助事業で繰越した基本設計業務は、5月25日に完了確認した。

【問】5月に洋野町内で移転新築された特別養護老人ホームでは町からの補助金は無く、全室個室である。いちい荘との違いに疑問を感じるがいかがか。
（町長）いちい荘建設には、町が過疎債又はたとの報告を受けた。6月12日には実施設計の入札会が開催されている。

交流駅

問 総事業費と資金計画は
町長 約27億円、国庫補助を活用

【問】交流駅建設にかかる総事業費の見込みと資金計画を示せ。
（町長）建設費で23億5千万円、総事業費は約27億円を見込む。財源は環境省のCO2排出抑制対策事業補助金のほか過疎債、ふるさとづくり振興基金の順で財政負担の少ない資金計画を考えている。

【問】建設場所を見直す考えはないか。
（町長）29年3月と9月定例会で土地取得を議決いただいた。予定どおり進めていく。

【問】入所定員増床への交渉を続けていく。
（町長）第7期介護保険事業計画の開始直後であり現時点での承認は難しいが、短期入所からの組み換え変更でもあり、今後も二戸地区広域行政事務組合との交渉を続けていく。

【問】交流と賑わい創出、健康づくり、子育て支援には「湯っこ」が必要と考えるか。
（町長）社会福祉施設の老朽化によって、今後、建替えが必要となった場合に公衆浴場の併設整備を検討していきたい。

研修レポート① 町内再生可能エネルギー施設を調査

※研修月日 平成 30 年 5 月 11 日（金）
 ※研修場所 軽米西ソーラー及び軽米東ソーラー発電所建設現場、鶏糞バイオマス発電所
 ※参加委員（総）松浦満雄、茶屋隆、古館機智男、細谷地多門、上山勝志
 （産）大村税、館坂久人、山本幸男、本田秀一、川原木芳蔵、中里宜博



①一部には太陽光発電パネルの設置が進む西ソーラー
 ②八戸自動車道・折爪 SA の西側付近の現場
 ③バイオマス発電所のタービンを視察

総務教育民生常任委員会（松浦満雄委員長）と産業建設常任委員会（大村税委員長）合同で、町内外の視察研修を行いました。
 ※（総）は総務教育民生常任委
 （産）は産業建設常任委

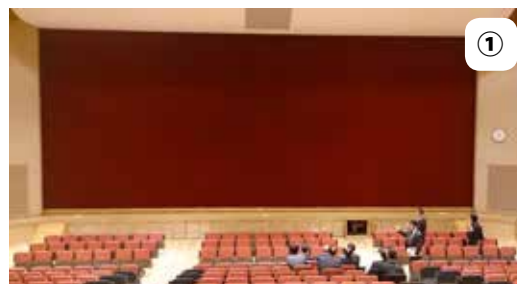
山内地区に整備が進められている軽米西ソーラーと軽米東ソーラー発電所の工事進捗状況について視察。西ソーラーでは、木の伐採と沈砂池整備が進み、一部で太陽光パネルの設置も見られ、鶏糞がダンプで運び込まれてから、燃焼させた蒸気でタービン（発電機）を動かす様子、最終的に残る燃焼灰までの工程を見学しました。発電所内は悪臭も無く清潔な環境にあります。

研修レポート① いちい荘と交流駅に関する事例を視察

※研修月日 平成 30 年 5 月 24 日（木）
 ※研修場所 洋野町：社会福祉法人ひろの会・特別養護老人ホーム希望 青森県八戸市：八戸ポータルミュージアム「はっち」 南郷図書館、南郷文化ホール
 ※参加委員（総）松浦満雄、茶屋隆
 （産）大村税、山本幸男、本田秀一、川原木芳蔵、中村正志、中里宜博

本年 5 月に移転新築した洋野町の特別養護老人ホーム希望の建物を見学。全室が個室で、10 床程度を二グループとするユニット式が特徴。本町のいちい荘の参考事例として視察しました。町で計画する「かるまい交流駅（仮称）」の参考事例として、八戸市中心部の交流拠点施設「はっち」を視察。市民参画による交流・賑わい創出について学んだほか、南郷図書館と文化ホールでは指定管理者の運営と施設規模、設備等について詳しく説明を受けました。

①南郷文化ホールの大きくゆりのあるステージ
 ②南郷図書館の照明は少なく窓からの採光が主です
 ③特養ホーム希望は 1 ユニットそれぞれに団らんスペースが設けられています
 ④全室個室となっています



検証

あの「検討します」は…
 どうなった？ ⑦

追跡

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

問 町有体育施設の計画的整備を（町民体育館の改修について）

平成 27 年 6 月、12 月、28 年 12 月定例会の一般質問での質疑 から Pick up!

答 (27 年 6 月) 優先度を考慮し多世代が楽しめる環境づくりに努める
 (27 年 12 月) 優先度を明確にし、町の計画策定時に組み入れたい
 (28 年 12 月) 町体育協会や百人委員会などの意見を聞きながら 29 年度予算で検討し、緊急性を考慮しながら実施したい

その後は…

平成 29 年度に屋根改修と外壁塗装、LED 化を実施 平成 30 年度は屋内床の張り替えを計画

施設の老朽化によって屋根が損傷し雨漏りしていた町民体育館ですが、29 年度に屋根の改修と外壁の塗装に加えて、照明設備を LED 灯に改修しました。（当初予算額約 7,545 万円）

また雨漏りによって 2 階体育室の床が腐食し剥がれるなどによりスポーツ活動に支障が生じていましたが、30 年度の補正予算で約 4,056 万円を計上し、床を全面改修することとしています。



29 年度に屋根と外壁の修繕のほか体育室照明が全灯 LED に取り換えられた町民体育館は、30 年度は床の改修も予定されています

町議会の動き

(平成30年4月～6月の主要な行事)

月	日	曜	行 事
4月	4	水	軽米保育園入園式、町小・中学校新任教職員着任式
	5	木	小軽米保育園入園式 議会報編集委員会
	6	金	軽米中学校入学式
	7	土	晴山保育園入園式、県立軽米高等学校入学式
	9	月	町内小学校入学式 議会報編集常任委員会視察（九戸村）
	11	水	軽米幼稚園入園式
	16	月	北部地区町村議会議長会通常総会（鹿角市、～17日）
5月	17	火	議会報編集委員会
	24	火	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会 町政調査会全体会（総会） 産業建設常任委員会
	25	水	かるまい議会だより第213号発行
	3	木	森と水とチューリップフェスティバルオープニング 町政調査会幹事会
	8	火	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会
	11	金	総務教育民生・産業建設常任委員会合同視察 産業建設常任委員会
	12	土	軽米中学校体育祭
6月	17	木	折戸岳振興協議会通常総会・安全祈願祭（二戸市） 町村議会議員研修会（県議長会主催、盛岡市）
	22	火	軽米尊坊ソーラー新設工事起工式
	23	水	音更町長、議会議長等表敬訪問（音更町、～24日）
	24	木	総務教育民生・産業建設常任委員会合同先進地視察（洋野町・八戸市）
	28	月	町村議会議長・副議長研修会（全国議長会主催、東京都）

議長交際費

※お祝い等（会費含む）

4月 6件 36,000円

5月 4件 14,000円

6月 1件 3,000円

※議長交際費は議長が町議会を代表して対外的な行事等へ参加する際の経費で、主に各団体の総会等の会費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。



月	日	曜	行 事 名
4月	4	月	議会運営委員会
	6	水	カシオペア連邦議会議員協議会役員会（二戸市）
	7	木	議員全員協議会 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会 町政調査会幹事会
	11	月	第24回軽米町議会定例会本会議（会期：～19日）
	13	水	定例会一般質問 総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
	14	木	平成30年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 議会運営委員会 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会
	19	火	定例会最終本会議 総務教育民生常任委員会、議会報編集委員会
6月	25	月	北部地区町村議会議長会事務局職員研修会（秋田県、～26日）
	26	火	町政調査会幹事会
	29	金	町政調査会幹事会

かるまい議会だより縮刷版（上下巻）

購入希望者に販売します

昭和39年7月1日に第1号を創刊以来、約53年間、第211号までの議会だよりのすべてを縮小し収録した永久保存版です。

主な仕様

A4判横置き、上・下巻1組、総頁数1,868頁、箱カバー付き

上製本仕上げ、表紙裏表紙布クロス張り、題字背文字金箔押し

価格 20,000円（税込）

発行 岩手県軽米町議会

〔お問い合わせ〕 軽米町議会事務局（☎0195-46-4745）

町民の皆様との交流大会はおかげさまで6年目を迎えました

ことはパークゴルフはつらつ大会に98人参加！



今年で6回目を迎えた町民との交流大会は、2年ぶりにパークゴルフ大会を開催しました。7月3日の厳しい暑さの中、ハートフルパークゴルフ場を会場に98人の方からご参加いただきました。参加いただいた皆様のお名前をご紹介しますのでいただきお礼いたします。

和気あいあいと談笑

交流が深まり、楽しめる大会

参加者から感想をお聞きました

大鳥ヨシ子 さん
(向川原 65歳)

松本 竹蔵 さん
(萩田 86歳)

今回初めてこの交流大会に参加しました。残念ながら、議員さんと一緒に組にはなりませんでした。皆さんと和気あいあいと談笑しながら楽しくプレーすることができました。ただ、とても暑い日だったので、次回は暑くない時期のほうが、よりたくさんの方が参加でき交流ができると思います。

自分の健康づくりのためにパークゴルフを続けています。この大会は町議会議員と交流できるのが楽しみです。こうやってスポーツしながらだと普段よりも話やすく、交流が深まります。順位や成績を気にせず楽しめるところも気に入っています。次回の開催も期待しています。

今回ご参加いただいた皆さんです。次回はあなたもぜひご参加ください！（順不同、敬称略）

こぶしブロック	やまどりブロック	いちいブロック	あじさいブロック	わかばブロック
安藤ユウ子	小倉 達次	本田 芳廣	藤田 イサ	中村 光男
須藤 昭夫	奥谷 克吉	大崎 チエ	中野 茂	後藤 良孝
大南 サダ	大鳥 福雄	小林美由紀	小笠原喜十治	福田 勝則
一條 博	日山由太郎	佐藤 雪子	林 政男	川口 幸雄
中里 篤	山舘松五郎	並岡 ナミ	大清水敏彦	沢尻 松男
田端 雄一	田中 京子	前田 泰穂	小坂カツ子	大鳥ヨシ子
田中 キミ	山下 正勝	山本 竹四	上山 りえ	川原 稔
中野 光廣	松浦 常雄	玉田 弘悦	栃木 一男	畑澤 榮功
小笠原 茂	上澤 京子	山下 容子	角野 等	桜田 博之
木村 貢	木村あき子	駒目キミヨ	稲葉香津子	原 新吉
田端 洋子	紫葉 高	田澤 忠孝	小林 敬一	大村 武男
山下 良介	須藤 正枝	大村 忠一	工藤 博	大鳥 正男
坂本 孝	山舘 節	大鳥 トキ	橋本 義勝	〔協力〕 軽米町パークゴルフ協会
若山 哲夫	工藤 幸男	田中 トヨ	田名部文雄	
竹沢 正男	田澤 清蔵	小林キヨシ	井戸澁春男	
宮内 操	田中 四郎	長坂 正志		
松田 信義	前田ミナ子	日山 一夫		
於本 京子	日山タカラ	小林 常雄		
中野 栄子	川原木キヌ	小坂 市郎		
大崎 英博	松本 竹蔵			

参加議員

松浦 求	山本 幸男	本田 秀一
松浦 満雄	大村 税	茶屋 隆
舘坂 久人	上山 勝志	川原本芳蔵
田村 せつ	中村 正志	中里 宜博

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ⑫



あかし 長男・丹 君 夫・あつし 徳 さん

くどう きょうか
工藤 杏夏 さん

二戸市出身 25歳（仲町）
夫・長男・義父・義母・義兄の6人家族

結婚を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
結婚を機に軽米町で暮らすようになりました。それまでは、チューリップ園がきれいなところや、ソフトテニスの大会で来ていたのでテニスコートの印象が強かったです。

四季折々の行事

☞ 住んでみての感想は？
春のチューリップフェスティバルのほかにも、商店街イベントや花火大会などでにぎわう夏祭りに、秋には山車や郷土芸能が盛りだくさんの秋まつり、そして冬にも綺麗なイルミネーションが点灯されるなど、四季折々の行事があつて良いなと思いました。

医療費助成が充実

☞ 現在の生活・暮らしについてお聞かせください？
今はおつばら、子どもの育児に追われています。妊産婦健診の費用や、現在も子どもの医療費の負担が無いのでとても助かっています。安心して子どもを育てられる環境が充実してほしいですね。

もう少し道路を広く

☞ 町がもっと良くなるためには何が必要ですか？
高速道路があるのでどこに行くにも便利ですが、町内の道路がもう少し広ければなど感じています。車のすれ違いや歩行者の安全、雪が降ったときを考えて改善できれば良いですね。県立軽米病院などに産婦人科ができて、子どもたちが遊べる公園などができれば、もっと子育てしやすくて住みやすくなると思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に來られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 平成30年7月25日発行 (No.214)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 求
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長	茶屋 隆
委員	中村 正志
副委員長	松浦 満雄
委員	川原 芳蔵
委員	田村 せつ
委員	中里 宜博